

議案第13号

日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の
一部改正について

日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を別紙
のとおり改正する。

令和6年3月5日提出

日野町長 埴田 淳一

日野町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の改正
が必要な理由と概要

1 背景及び趣旨

特別職の国家公務員の給与改定に準じ、期末手当の率の改正を行う。
また、鳥取県西部地区特別職報酬等審議会からの答申を受け報酬月額
の改正を行う。

2 改正内容

期末手当の支給月数の引上げ

支給月数を0.10月引上げ（現行3.30月⇒改正3.40月）

報酬月額を改正

町長 月額810,000円から814,000円へ改正

副町長 月額648,000円から651,000円へ改正

教育長 月額579,000円から611,000円へ改正

3 附則

令和6年4月1日から施行する。

(参考)

		6月期	12月期
令和5年度 期末手当	町長、副町長、 教育長	1.65月（支給済み）	1.65月（支給済み）
令和6年度 期末手当	町長、副町長、 教育長	1.70月	1.70月

日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例(平成19年日野町条例第2号)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前																				
<p>(期末手当)</p> <p>第4条 特別職の職員の期末手当の額は、給料月額100分の120に相当する額に日野町職員の給与に関する条例(昭和48年日野町条例第6号)の適用を受ける職員(以下「一般職の職員」という。)の例により算定した額とする。ただし、同条例第19条第2項中「100分の120」とあるのは「<u>100分の170</u>」とする。</p> <p>別表第1(第3条関係)</p> <table border="1" data-bbox="874 1165 1114 2082"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町長</td> <td>814,000円</td> </tr> <tr> <td>副町長</td> <td>651,000円</td> </tr> <tr> <td>教育長</td> <td>611,000円</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	月額	町長	814,000円	副町長	651,000円	教育長	611,000円	略		<p>(期末手当)</p> <p>第4条 特別職の職員の期末手当の額は、給料月額100分の120に相当する額に日野町職員の給与に関する条例(昭和48年日野町条例第6号)の適用を受ける職員(以下「一般職の職員」という。)の例により算定した額とする。ただし、同条例第19条第2項中「100分の120」とあるのは「<u>100分の165</u>」とする。</p> <p>別表第1(第3条関係)</p> <table border="1" data-bbox="874 226 1114 1152"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町長</td> <td>810,000円</td> </tr> <tr> <td>副町長</td> <td>648,000円</td> </tr> <tr> <td>教育長</td> <td>579,000円</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	月額	町長	810,000円	副町長	648,000円	教育長	579,000円	略	
区分	月額																				
町長	814,000円																				
副町長	651,000円																				
教育長	611,000円																				
略																					
区分	月額																				
町長	810,000円																				
副町長	648,000円																				
教育長	579,000円																				
略																					

附 則

この条例は、令和6年4月1日から施行する。